

食べ物の中のちがいがとう

大久保小学校三年 鈴木 惟

みなさんは、お米を食べるのは好きですか？
私はお米が大好きです。ふわふわで、きらきらでつやつやのたきたてごはんがでたときは、とびあがるほどうれしくて、にこにこで食べます。家ぞくとの会話もふえて、楽しい時間になります。

ところが、今年に入ってお米のねだんが急に高くなりました。私のおばあちゃんも、なるべく安いお米を買うために、朝の五時におきて、早くから直売所にならんでいます。そこにはたくさんの方がならぶそうです。私はたまに、お米とぎの手伝いをしますが、一米つぶをこぼさないようにね、と言われるます。

なぜならば、お米を作るのに、たくさんのお金がかかっているからです。お米をそまづにするという事は、作った人も悲しいし、その人たちのくろくろが水のあわになっってしまうという事です。だから、ごはんをよそうとき

には、自分が食べられる量を自分のおなかの
空き具合とそうだんしています。そして、ご
はんつぶを一つでも残さないように食べてい
ます。

長さき県では、毎日一人当たりおにぎり一
こ分の食品ロスがあるそうです。食べられる
のに残ってしまうのはじばちが当たりそうだ
し、良くない事だと思います。だから、なる
べく好ききらいをせず、感しやをして食べま
す。生さん地や生さんしやさんを調べて、き

ょうみを持つのもよいと思います。学校の給
食では毎月十九日は「食育の日」になってい
ます。この日はたとえば佐世保や長さき県さ
んの食ざいを使ったメニューが出ます。私は
この日をいつも楽しみにしています。

ごはんや、やさい、魚などの食ざいのいの
ちに感しやして、これからも楽しく食事をい
ただきます。